

令和元年度第2回さぬき市文化財保護審議会 会議要旨

- 1 日 時 令和2年3月7日(土) 午後2時～午後4時30分
- 2 場 所 さぬき市教育委員会事務局 会議室
- 3 出席者 【委員】伊澤 肇一 熊田 正美 千葉 幸伸 佐々木正博
古瀬 清秀 細川 信晃 溝渕 茂樹
【事務局】安藤教育長 細川生涯学習課長 山本課長補佐
入砂係長 久米川主事
- 4 議 題 議題1 市指定史跡「寒川出水」の補修について
報告1 市指定史跡「海女の墓五輪塔群」調査概要報告について
報告2 「讃岐遍路道 大窪寺道」の国史跡指定について
その他

5 会議の内容

発言者	意見概要
(事務局)	ただ今から、令和元年度第2回さぬき市文化財保護審議会を開催します。 本日の審議会は、さぬき市文化財保護審議会規則第5条第2項の規定により、本会議は成立していることを報告します。最初に、伊澤会長のご挨拶をお願いします。
(会 長)	(挨拶)
(事務局)	有難うございました。続きまして安藤教育長のご挨拶をお願いします。
(教育長)	(挨拶)
(事務局)	有難うございました。それでは、さぬき市文化財保護審議会規則第5条第1項の規定により、会長の議事進行をお願いします。
(会 長)	それでは、議事に入ります。最初に事務局から本日の進め方も含めてご説明をお願いします。
(事務局)	(議題1、現地視察場所についての説明を行った。)
(会 長)	それでは、今から現地視察に向かいます。 (委員 現地視察) 寒川出水
(会 長)	それでは、議題1について事務局から説明をお願いします。
(事務局)	(議題1 市指定史跡「寒川出水」の補修について説明を行った)
(会 長)	では、ご意見をお伺いします。
(委 員)	寒川出水は、例年5月頃から水が溜まりはじめ6月～10月下旬のお米を作る時期には水が満水になるので、7月から行くと排水処理が伴う。

(委 員)	農業遺産として大切な遺構。石面を揃えて積みばできる。石田高校生にも協力して取り組むことが大切ではないか。城の石垣とは異質であり、北面は落石をのけると内側は生きている。作業は、10月～4月の水が湧かない時期でないといけない。
(委 員)	<p>南面の補修は、北面の構造を把握した上で、石をナンバリングして取り上げ、背面はモルタルで止める補修でもよいのではないか。</p> <p>北壁の補修 幅1m位のトレンチで断面を観察した後、石を積む。</p> <p>東壁の補修 隙間に栗石を詰め、セメントで裏打ちする形で固定しても良い。</p> <p>南壁の補修 背面の土が流れ出ているので、全体を組み直す。 北壁の状況（構造）をみて、同じように積み直す。</p> <p>西壁の補修 隙間ができていますので、隙間を詰める。セメントを流してもよいが、木杭を支える大石は、将来の改修に備えて動かせる状態にしておく。</p> <p>床面 床面の土は、固い面まで除去する。</p>
(委 員)	全体的に西は、地山・栗石の関係、石の詰め方、細木を同じような形態にする。作業については、現在、文化財の活用も叫ばれているので、地元の石田高校に協力を求めて取り組めばよいのではないか。
(会 長)	他にご意見はありませんか。
(委 員)	石碑横の木が石碑を覆っているため、除去してもよいのではないか。
(委 員)	南壁の上の樹木も、石積みに悪影響を与えているようであれば、適度に伐採すればよい。
(委 員)	石積みの状況については、西壁の状況が良く分かるので他の壁の石積みの参考になるのではないか。作業については、地元の石工に依頼してもよいのではないか。
(会 長)	<p>今後の調査状況などについて、随時報告をお願いします。</p> <p>それでは、報告1について事務局から説明をお願いします。</p>
(事務局)	(報告1 市指定史跡「海女の墓五輪塔群」調査概要報告について説明を行った)
(委 員)	調査成果について、今後も県教委の指導を受けながら追加調査も含めた協議をお願いします。

(会 長)	それでは、報告2について事務局から説明をお願いします。
(事務局)	(報告2 「讃岐遍路道 大窪寺道」の国史跡指定について説明を行った)
(会 長)	それでは、進行を事務局にお返しします。
(事務局)	有難うございました。以上で、さぬき市文化財保護審議会を閉会します。